

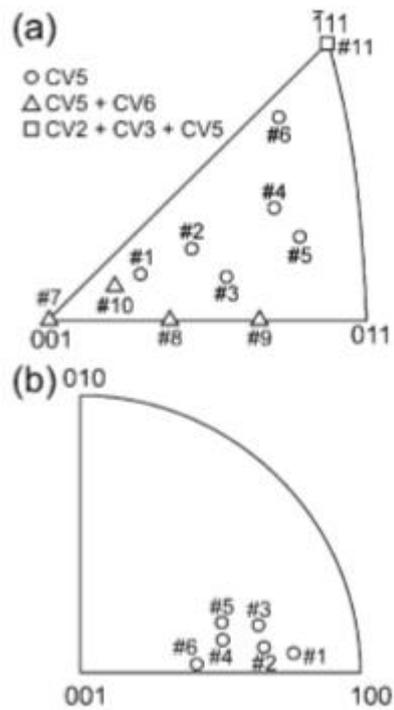
逆極点図を ODF 解析後の逆極点図以外に利用

2020年08月23日

HelperTex Office

概要

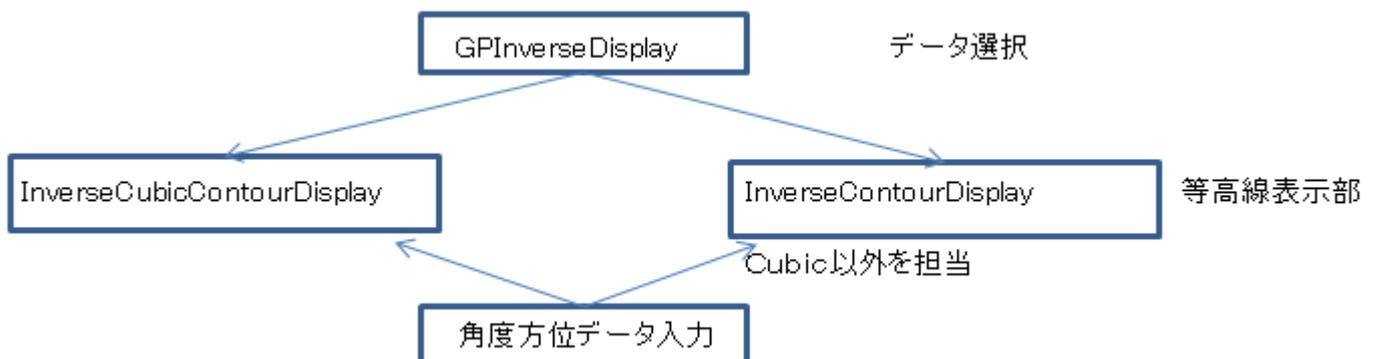
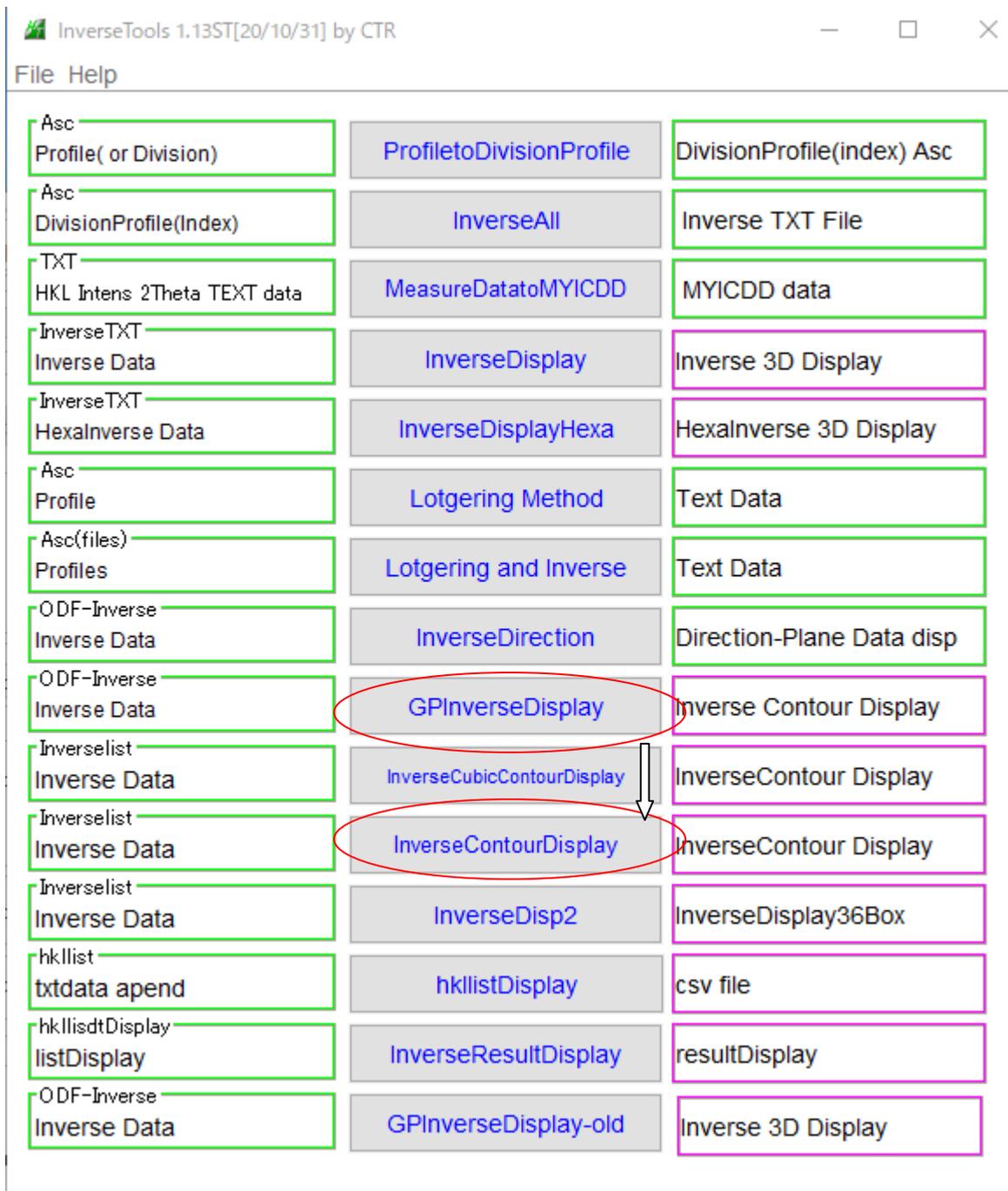
CTRソフトウェアでは、各種ODF解析後の逆極点データの描画が行われている。
このソフトウェアに以下の機能を追加してみます。
まてりあ第57巻 第7号(2018)に



の図が掲載されている。

このデータは、逆極点図データ (ϕ 、 β 、密度) の連続データではなく、
方位あるいは、方位角度のリストから表示されている。

この表示方法を CTR ソフトウェアに追加を考えます。



このソフト以外に無償で使用できる InverseCubicContourDisplay-Free ソフトウェアがあります。

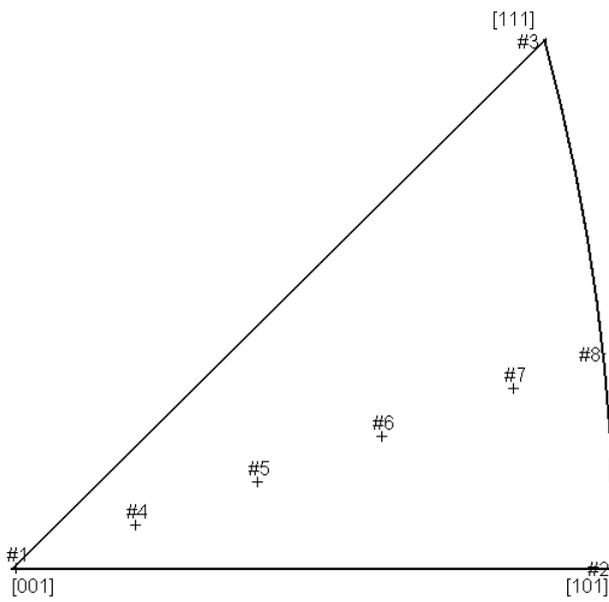
Cubicの場合

入力角度データを作成 (Tabで区切る)

fai	beta	String↓
0	0	#1↓
45	0	#2↓
54.7	45	#3↓
10	20	#4↓
20	20	#5↓
30	20	#6↓
40	20	#7↓
47	20	#8↓

C:\CTR\DATA\InverseContourDisplay\Inverse-allzero\DispAngle.bt

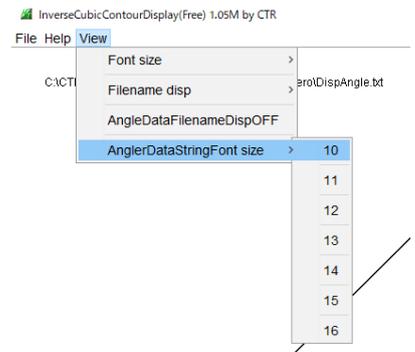
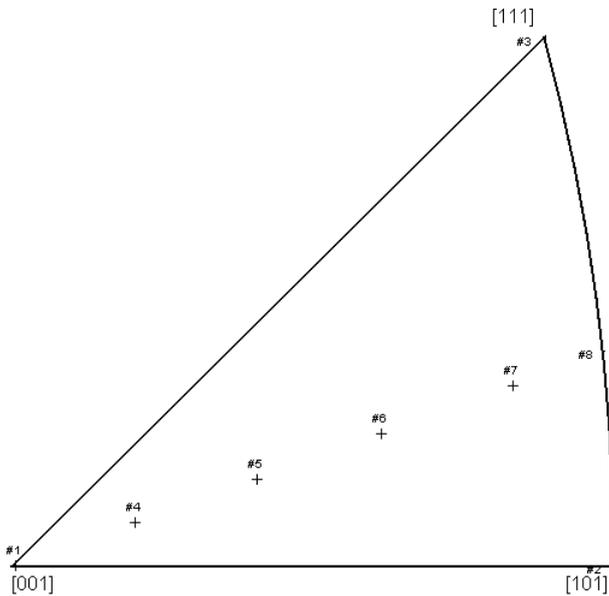
Max=0.0
Min=0.0



表示 Font 変更

C:\CTR\DATA\InverseContourDisplay\Inverse-allzero\DispAngle.bt

Max=0.0
Min=0.0

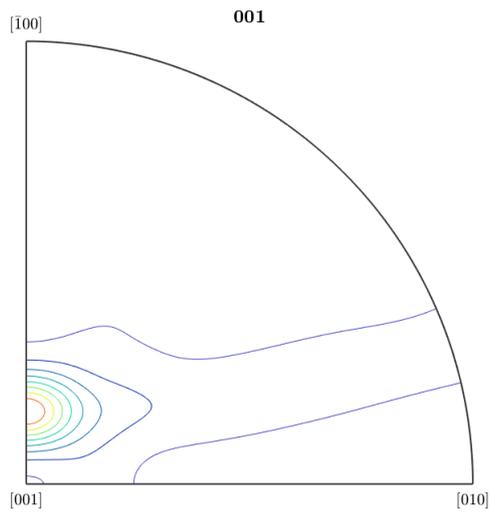
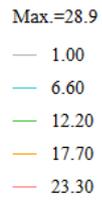
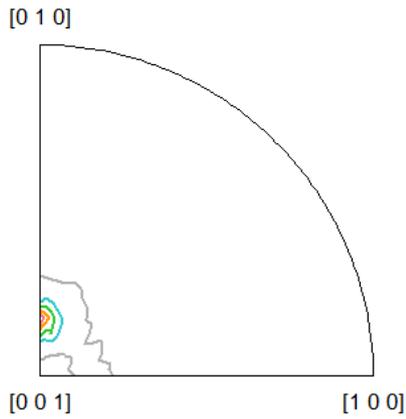


Orthorhombic の場合

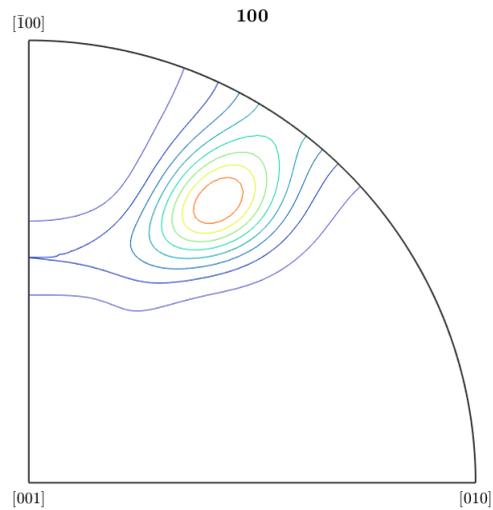
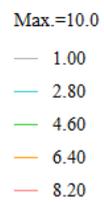
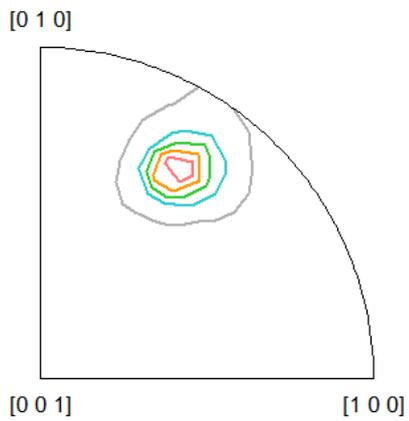
TexTools

MTEX

ND



RD



TexTools は方位軸が間違っていると思われます。
MTEX が正しい。

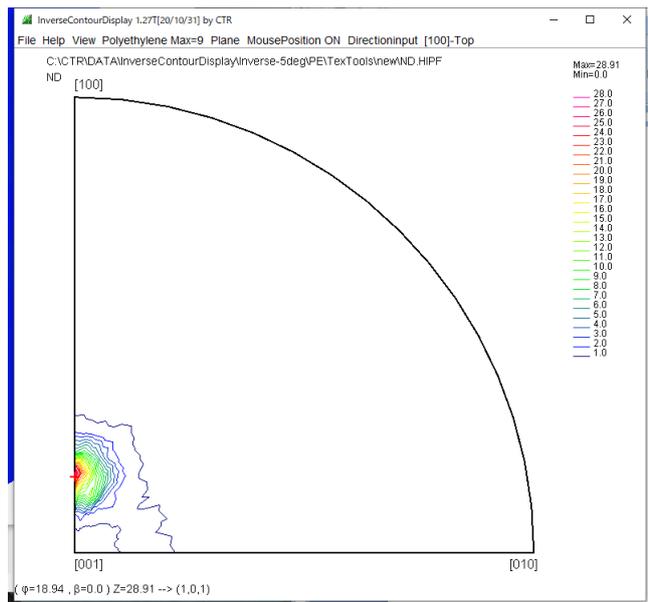
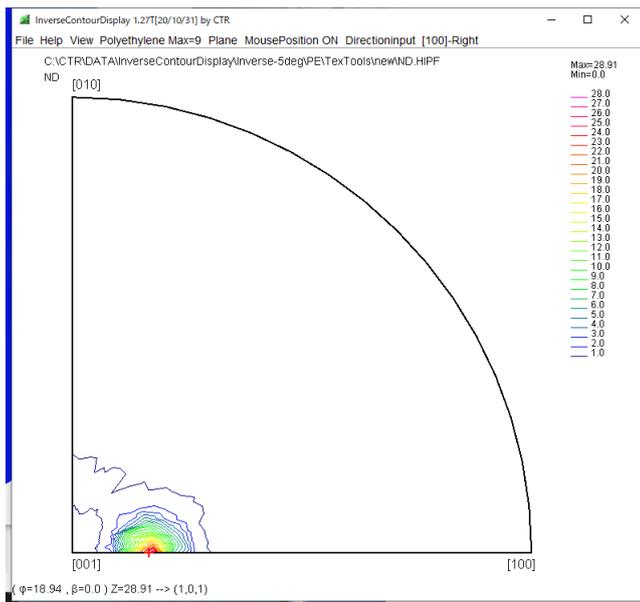
しかし、X軸は[010]
まてりあの X 軸は[100]である。

CTRソフトウェアで表示

TextTools

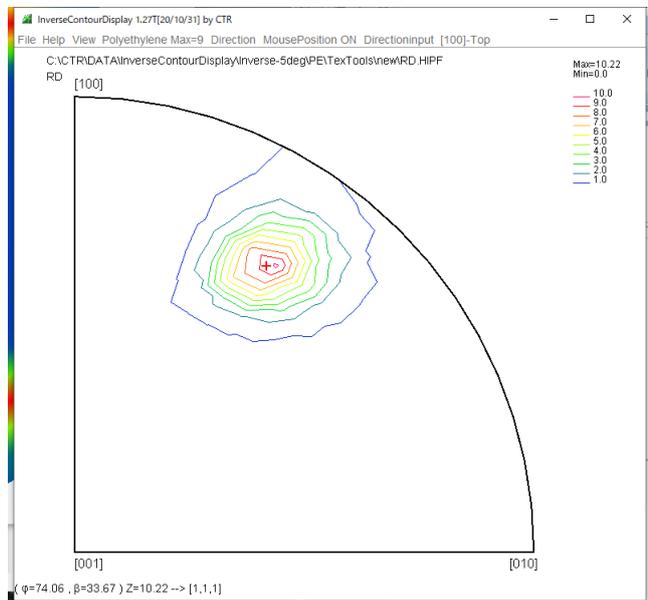
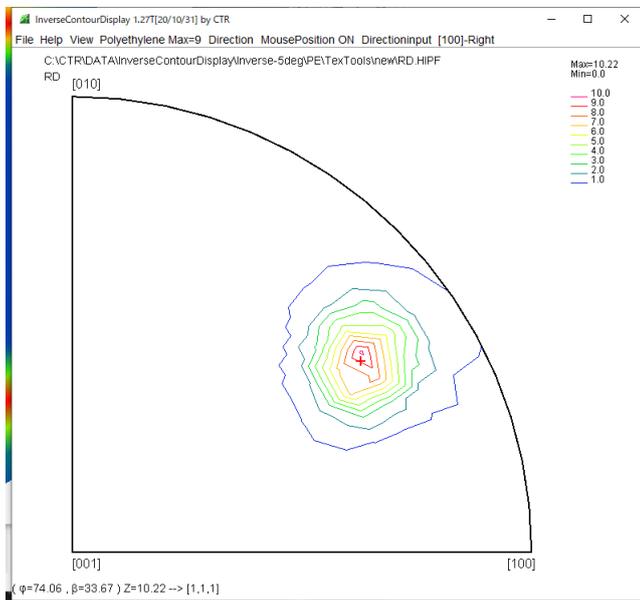
ND(Plane) [100]-Right

[100]-Top



RD(Direction) [100]-Right

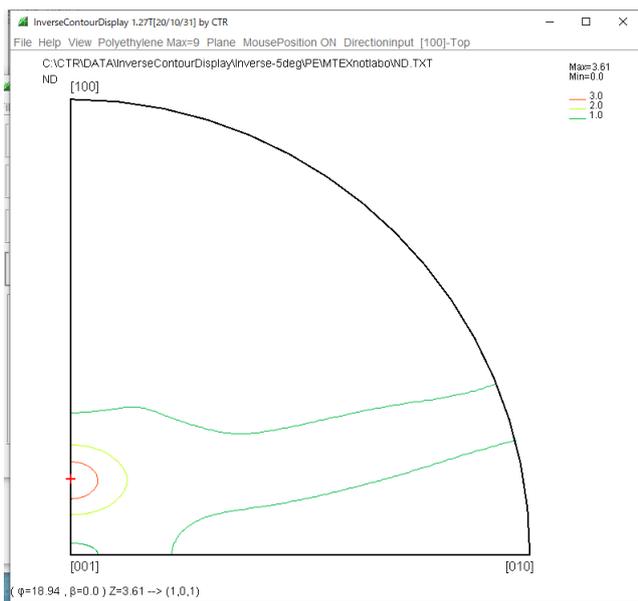
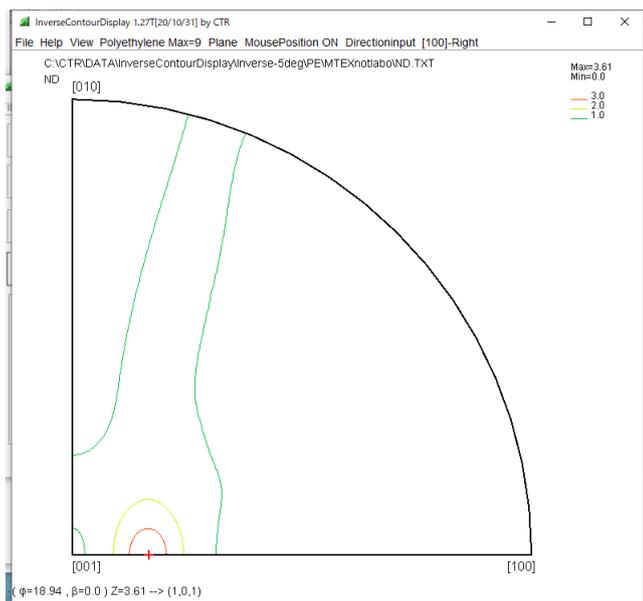
[100]-Top



MT EX データ

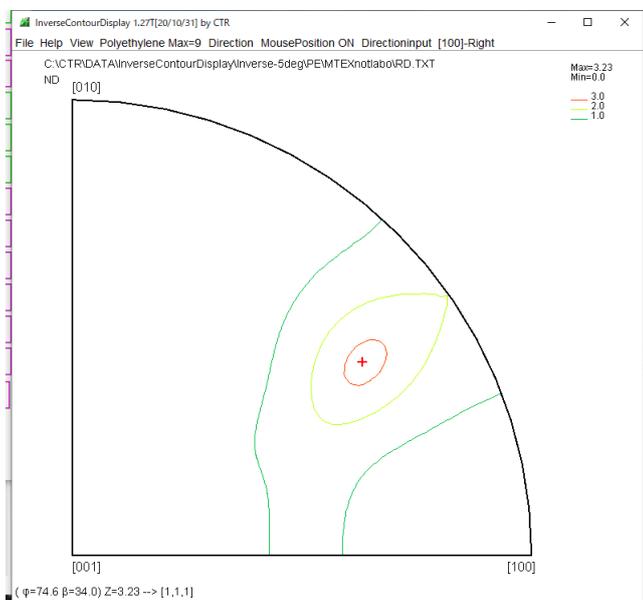
ND(Plane) [100]-Right

[100]-Top



RD(Direction) [100]-Right

[100]-Top

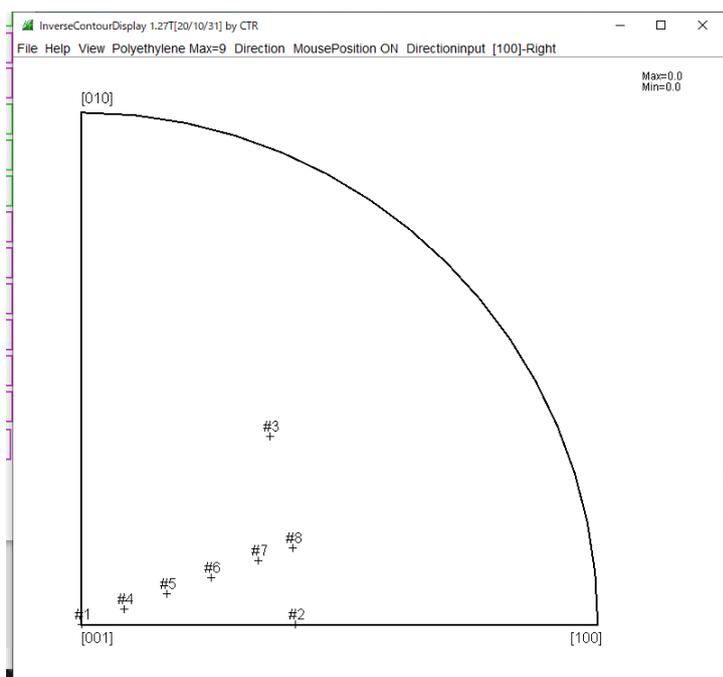


Orthorhombic

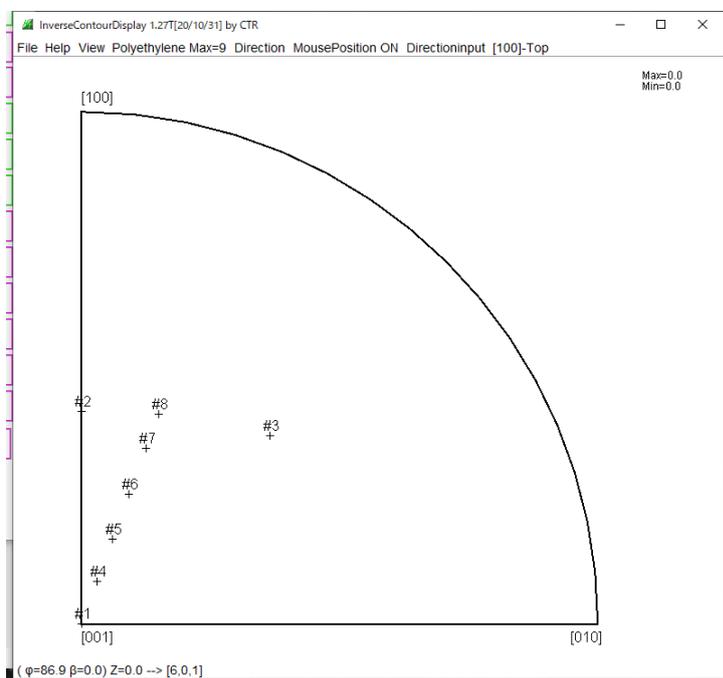
Cubicと同一データで比較

fai	beta	String↓
0	0	#1↓
45	0	#2↓
54.7	45	#3↓
10	20	#4↓
20	20	#5↓
30	20	#6↓
40	20	#7↓
47	20	#8↓

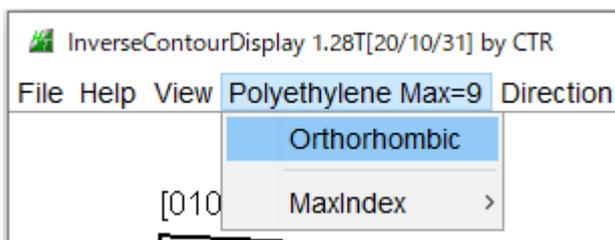
[100]-Right



[100]-Top



Hexagonalの場合

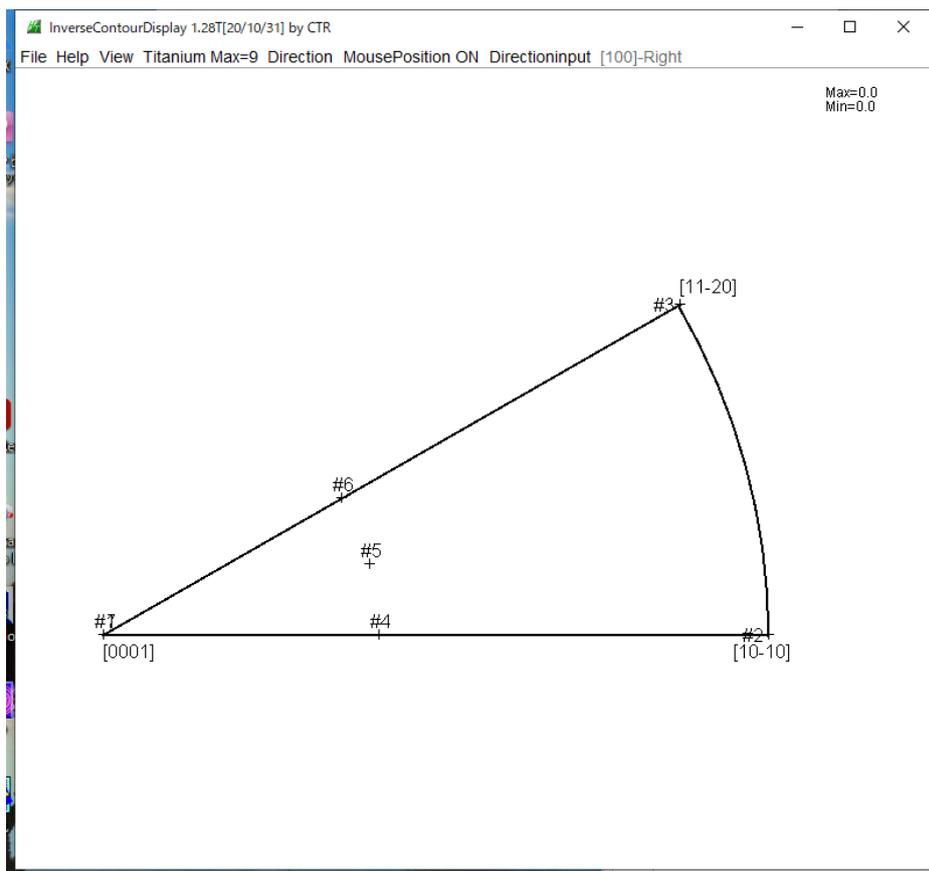
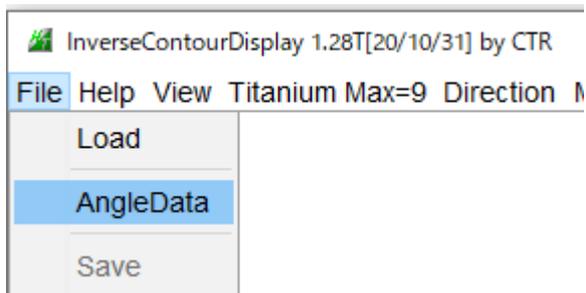


Hexagonalを選択

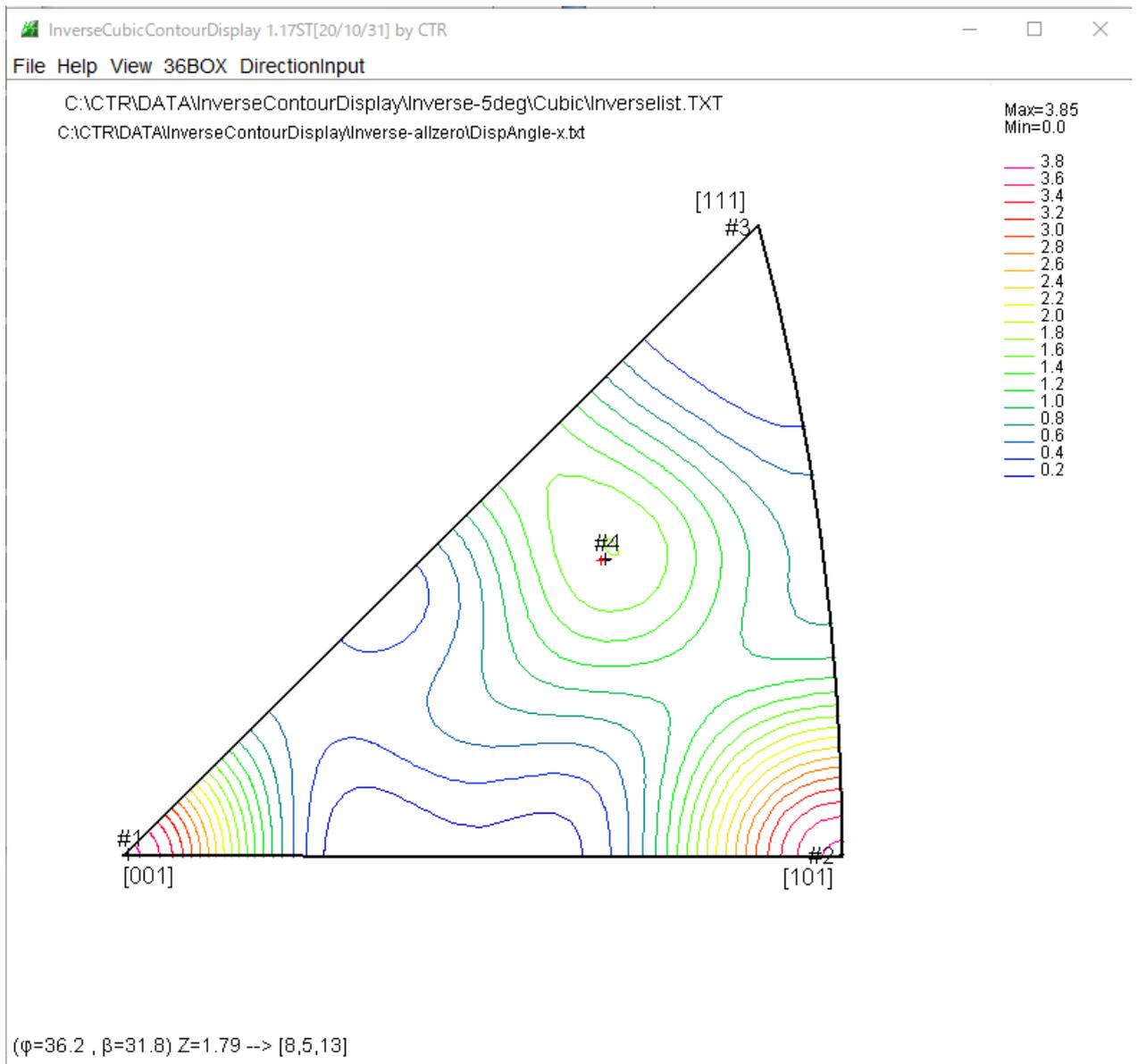
データ作成

fai	beta	String↓
0	0	#1↓
90	0	#2↓
90	30	#3↓
45	0	#4↓
45	15	#5↓
45	30	#6↓
0	0	#7↓

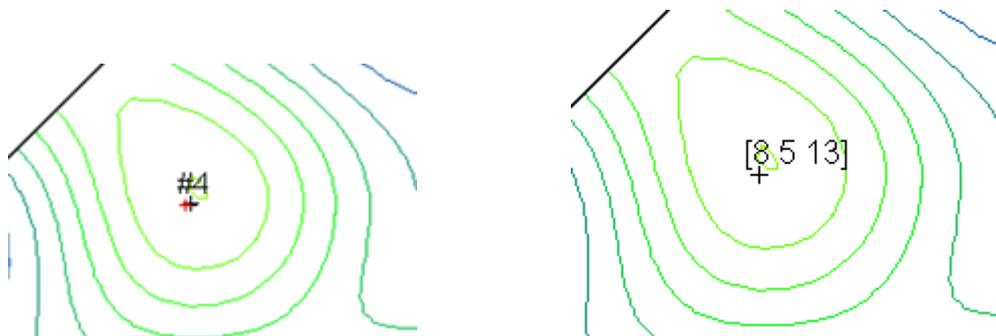
データ読み込み



等高線に重ね書き



Stringを変えれば



Fontsize 変更で

